

平成 2 3 年度事務事業評価調書

平成 2 3 年度作成

平成 2 2 年度 実施事業	事務事業名 スクールバス運行事業
-------------------	-------------------------

区分	番号	名 称						
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち						
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む						
施策	2	地域に根ざした魅力ある学校づくり						
小分類	3	教育環境の充実						
主要な施策	1	児童生徒の安全確保						
事務事業番号	002	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <td style="background-color: #f4b084;">事務事業コード</td> <td>52231002</td> <td style="background-color: #f4b084;">事業開始年度</td> <td>平成 1 0 年度</td> <td style="background-color: #f4b084;">事業終了年度</td> <td>平成 - 年度</td> </tr> </table>	事務事業コード	52231002	事業開始年度	平成 1 0 年度	事業終了年度	平成 - 年度
事務事業コード	52231002	事業開始年度	平成 1 0 年度	事業終了年度	平成 - 年度			

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	スクールバス運行経費
------	------	------------	------------

部 名	教育部	グループ名	学校教育 G
-----	-----	-------	--------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記載してください) 遠隔地から通学する児童・生徒の負担の軽減を図る。
手段 (事業の内容・活動)	(目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください) 児童・生徒の通学の安全を確保するため、次の学校へ通学する児童・生徒に係る送迎用バスを運行する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 札内町、来馬町に居住する児童・生徒を幌別小学校、幌別中学校へ。 ・ カルルス町、上登別町、登別温泉町、中登別町に居住する児童を登別小学校へ。
成果	(事務事業の実施成果を具体的に記載してください) 送迎バスを運行することにより、児童生徒の登下校の安全性が確保される。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください)

指標の推移

区 分		単位	区分	22年度 実績	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	利用人数	人	目標値	53	52	52	52	52
			実績値	51	/	/	/	/
			目標値					
			実績値		/	/	/	/

事業費の推移

区 分			単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円	13,271	13,589	15,065	15,065	15,065	45,195
合 計				13,271	13,589	15,065	15,065	15,065	45,195
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	398	409			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		398	409			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 児童・生徒の通学の安全に配慮する必要があり、市が本事業を行うことは妥当である。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ スクールバス運行により、通学の安全が確保されている。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 本事業においては、常に「安全性」という成果が確保されているべきものであるが、送迎用バスの適切な時間割等に配慮し、利用者の利便性向上を図る。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 本事業に係る経費は、スクールバス運行に伴う委託料であり、経費の削減は事業の実施を困難にする。 人工、所要時間についても、パソコン、e-mailの活用により、最小限で行っている。

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	遠距離通学をしている児童生徒の安全確保と、保護者の経済的負担を軽減するために必要な事業である。
-----------	----------------------	---

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
-----------	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）